

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)10月20日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A22008
部門分類：610(担い手育成)
発信者名：柴田、川村、大崎

稲刈り体験による食育活動を開催！

10月6日、当課は大津地域青年農業者クラブ^{きらり}季楽里による大津市立木戸小学校5年生40名を対象とした稲刈り体験の開催を支援しました。

季楽里は、平成14年から毎年、木戸小学校5年生を対象に食育活動の出前授業を開催してきました。昨年まではコロナの影響により、Zoomを活用して食育活動を行ってきましたが、今年の5月に田植体験を実施した田んぼが収穫時期を迎えたため、現地では2年ぶりとなる稲刈り体験を開催しました。

水稻の収穫作業は初めての生徒たちばかりであったため、手刈り作業は新鮮で、大変興味をもって取り組んでいただけました。生徒2人から3人にクラブ員1人がつくように誘導し、安全な作業実施に努めました。生徒たちからは、「この稲がどうやってお飯になるの」といった質問もあり、日ごろ食べているお米への興味も高まったと感じました。

手刈り作業後には、コンバインによる収穫実演を行い、機械による作業性の高さには驚きの声があがりました。コンバインの乗車体験は、参加者全員が希望するなど、大変意欲的に参加していただきました。

当課はクラブ員のサポート作業や、脱穀の補助作業などについて協力しました。活動後には速やかに反省会をするように提案し、反省会において農産物の生産から消費までの流れを伝える意義を伝え、クラブ員自身が学校で説明する機会を設けることが決まりました。

当課では、クラブ員の資質向上につながる活動を支援するとともに、地域の子供たちを通じて農業への関心が高まるよう今後も支援を続けていきます。



手刈り体験の指導



コンバインによる収穫見学



コンバイン乗車体験